NIE実践報告

1．タイトル：☆これからの情報化社会をどう生き抜いていったらいいか

2．学校名

岡山県岡山市立中山中学校

3．実践者名（代表者名）

井上弘子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　187人

6．単元（本時の学習課題）名

メディア社会を生きる

7．目標(狙い)

多様化したメディアをどう受け止め、使いこなしたらいいかを学ぶ。

8．評価の視点

比べ読みができ、情報を発信する側のことも理解することができ、自分で行う情報発信も的確でわかりやすいものを作成することができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

本単元で、情報から真実を読み取ることの大切さを自覚させたい。そして、読み手を意識した発信のしかたも身につけ、今後のすべての教科や生活に生かしてほしいと思う。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・教科書を朗読し、読み解く　（3時間）
・中国四川省地震の記事を比べ読みする　（本時)
・新聞の紙面構成を知り、新聞制作の方法を学ぶ　（1時間）
・沖縄修学旅行の体験を新聞にまとめ、互いに評価する　（3時間）
・現役の新聞記者による、情報の作り手としての話を聞く　（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞の比べ読みは、小見出し記事の本文の違いまで見つけ、読者はどちらの情報を求めているだろうか、どちらに信憑性があるだろうかなど、予想外にたくさんの意見が出て盛り上がった。

12．成果と課題

修学旅行の新聞づくりには生徒たちは苦戦した。情報を受け取る側としては、これまでいろんな学習を積んできたが、発信する側としてはまだ未熟さが伺えた。しかし、現実にはメールやホームページで気軽に「発信」をしているので、そのことを自重するきっかけにはなったようだ。この一連の学習の成果かどうか、この学年の卒業式の答辞には「これからの情報化社会の中で僕たちは、真実を見極め自分の考えをしっかり持って生きていく」という一文が入っていた。